管機連Ｄａｉｌｙ Ｎｅｗｓ

2026年11月9日（月）

≪　今日の主なニュース　≫

～　日経ニュースなどを中心

◆GPIF、7～9月は5.2兆円運用損失　国内債比率は基本配分並み

・公的年金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）は7～9月の運用成績が5兆2533億円の損失になったと発表。運用損は2025年1～3月以来、6四半期ぶり。世界的な金利上昇（債券価格は下落）や円高進行が逆風に。全体の運用収益率はマイナス1.65%で、9月末時点の運用資産額は314兆3876億円だった。

◆内部告発の報復解雇に刑事罰導入　改正法12月施行、企業の体制に課題

・12月1日、改正公益通報者保護法が施行される。不正などの通報者が報復に遭わないよう守る仕組みが強化される。企業側は対応人材が不足しており、生成AIを活用した効率的な通報処理などが加速する可能性もある。改正法は報復に対する刑事罰導入に踏み込んだ点が特徴。

◆9月の実質賃金2.2%増、9カ月連続プラス　賃上げが加速

・厚生労働省が発表した9月の毎月勤労統計調査によると、物価変動の影響を除いた実質賃金は前年同月比2.2%増。プラスは9カ月連続。賃上げが加速しているほか、ガソリン減税などの物価抑制策も効いている。名目賃金を示す1人りの現金給与総額は31万1409円と4.6%増。伸び率は1997年1月以来、29年8カ月ぶりの高さ。

≪　業界ニュース　≫

～　日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋　～

◆TOTO、上期は増収増益　国内住設は減収減益もリモデル需要が下支え

・TOTOは2027年3月期第2四半期（4～9月）の連結決算を発表。売上高は前年同期比4.4%増の3646億7500万円、営業利益は同21.2%増の251億8200万円、親会社株主に帰属する中間純利益は同2.4倍の213億1500万円。売上高と中間純利益は中間期として過去最高を更新。中東情勢の影響による原材料価格の高騰が重荷、浴室商品の販売減少も響いた。

◆日本製鉄の純利益上振れ　27年3月期26倍、USスチール業績伸び

・日本製鉄は2027年3月期の連結純利益（国際会計基準）が前期比26倍の4400億円になりそうだと発表。従来予想か1500億円上方修正。米国の鋼材高を背景に傘下の米鉄鋼大手USスチールの業績が想定を上回って伸びる。純利益は事前の市場予想平均（QUICKコンセンサス、3154億円）を大幅に上回った。

◆タカラスタンダード、上期売上高が過去最高　新築戸建てとリフォームが牽引

・タカラスタンダードは2027年3月期第2四半期（4～9月）の連結決算を発表。売上高は前年同期比1.8%増の1253億3000万円となり、中間期として過去最高を更新。中東情勢の影響による原材料価格の高騰や人的資本投資、IT投資などのコスト増が響き、営業利益は同7.2%減の80億8900万円、経常利益は同5.6%減の85億700万円

≪　注目商品　≫



■コロナエコキュートを拡充、省エネ性に優れた寒冷地モデルなど

・家庭用ヒートポンプ給湯機「エコキュート」を拡充。給湯圧力を高めた「集合住宅専用」の新モ5機種を12月から、省エネ性能に優れたフルオートタイプ「アドバンス」の寒冷地向けモデル2機種を2027年1月から発売。「集合住宅専用」は、給湯圧力を従来の170kPaから180kPaに向上。



■リンナイ、ガス衣類乾燥機「乾太くん」デラックスタイプをモデルチェンジ

・ガス衣類乾燥機「乾太くん」デラックスタイプをモデルチェンジし、従来のピュアホワイトに加え、新色のソリッドブラックを2027年1月下旬に発売予定。グレーやモノトーンなどシンプルで洗練されたインテリアに対応。細部まで色と質感にこだわったソリッドブラックを追加。



■LIXIL、循環型素材採用の人工木デッキ

・再資源化が困難な廃プラスチックと廃木材を融合した独自技術の循環型素材「revia（レビア）」を採用した人工木デッキ。木を彫ったような凹凸による美しい陰影と不均一で心地いい木質が特長。カラーは、ライトブラウン、ダークブラウン、グレーの3色。